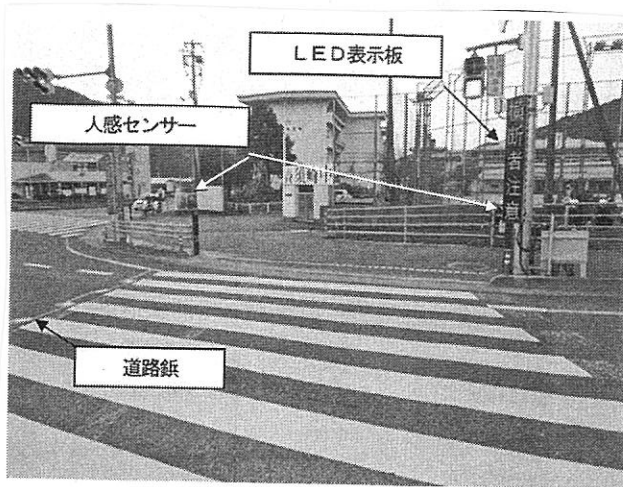


横断者感知式 注意喚起システム開発

高知県の国道に導入

オリコンサルら



高知県の国道での導入事例

オリエンタルコンサル
タツは、名古屋大学大
学院工学研究科の中村英
樹教授、キクテックと共
同で、歩行者の安全な横
断を支援する「横断者感
知式注意喚起システム」
を開発した。横断歩道の
歩行者を人感センサーで
検知し、路面の道路線が

発光するとともに、LED表示板によってドライバに注意喚起を図るもので、横断歩行者の安全に大きく寄与する。同システムは、実験による有効評価結果を踏まえ、高知県の国道に実導入された。

同システムは、すべての歩行者が横断し終わった時、または、設定した一定秒数後には、道路線とLED表示板は消灯する。また、歩行者用信号機と連動させることも可能となっており、その場合、赤信号時には点滅しない仕様となっている。ポイントは、常時あらゆる方向に対して警告しているものではなく、歩

行者が横断しようとしている時のみ、そのことを検出して、また必要な方向のみ点滅させ、ドライバへ注意喚起を行うこと。同システムは車載器などのデバイスが必要としないことから、通過するすべてのドライバーに注意喚起することができ

注意喚起を路面に埋め込んだ道路線で行うことにより、発光した道路線を注視すると、そこに横断歩行者がいるため、横断歩行者をより注意できる仕組みとなっている。

同システムは、無信号の横断歩道、信号交差点の横断歩道（右左折時への対応）、左折導流路の横断歩道など、様々な場面での適用が可能となっており、交通事故の削減に大きく寄与するものとなる。